

【最近のこれはお見事!】『未来を花東にして』

20世紀初頭。イギリスで始まった女性解放運動を始めた女性達の奮闘を描く。余談ですが、アメリカのポスターのイラストより日本公開に使われた写真の方がいいですね。

シネマズライフ

たかぎ りおん 貴樹 諒音

【最近のこれはまずいぞ!】『たかが世界の終わり』をや...『世界の終わり』を『たかが』と言われても...。

映画の風景 日本の風景

※ 島根県出雲市 出雲大社 ※



← 古代の本殿の様

22世紀の地球。すべての土地は汚染され、人々の心も荒れ果てていた。しかし、富裕層はそんな地球にあつさり見切りをつけ、地球上の宇宙空間にスペースコロニー「エリジウム」を作り、公害も何もない世界で暮らしていた。その上、そこにはすべての医療処置を完璧にこなす医療ロボットがあり、地球上の住民にとっても羨望的でもあつた。かつては何度か犯罪に手を染めたがいまや真面目に働く青年・マックスは機械の故障の事故で全身に放射能を浴びてしまい『余命5日』と宣告される。納得できないマックスは、医療ロボットに入る為に『エリジウム』への不法侵入を試みる。一方『エリジウム』を守る防衛兵官テラコートが『エリジウム』乗っ取りの為、ある方法でクーデターを計画していた...

人間は昔から人間が住む理想の住まいとして「コロニー」等を作る。「バベルの塔」もその一つだったのだから結構馬神に拒否されている。出雲大社の本殿は、実は高さが48の時期があり、古代の本殿は96だったとも言われている。しかし、それは人間は神を親しく近づこう考えた為の造る技で、神も人間を恐れてはいない。『エリジウム』は「バベルの塔」ではないが人間を選別している。一方、出雲大社の本殿は人間が神に近づこうとしない、神も人間を拒否していない。太古の昔から人間は寄り添うものを求めている。そしてそれを拒否しない。出雲の神「は、葉唄らしい」神「な」ではないだろうか。

『エリジウム』という映画があつた。こんな映画だ。

『エリジウム』2013年 アメリカ 監督 製作 脚本：ニール・ブロムカンプ 出演：マット・ディモン ジョディ・フォスター シャルト・コブリー

監督は南アフリカ出身で描くテーマは『差別社会』と『無情の愛』。今や化石化しつつあるこのテーマを掲げる監督は今後映画作りにくくなるかもしれないのが悲しい。

コラム
白赤...はつきりするのはいいけれど...と思う件

1月、とうとう(笑)、アメリカでドナルド・トランプ大統領が誕生した。ツイッターを駆使し、今までの大統領なら恥ずかしい発言でも、どんどんツイートし、おかげで世界中が戦々恐々!大騒ぎする。その様子はツイートするご本人は楽しいだろうと思う。

日本でも大阪で、元府知事・市長が何かあるとツイートをして、一時はマスコミも騒いでいましたが、今はあまり騒がれる事もない。

問題は中身で、「白黒」はうきりさせるのが好きなようですが、いやいや、「白赤」じゃないか?と一人突っ込んでみる。



「えっ?そんな事できるの?」と思う事でも、どんどんツイートを発しています。ひゅうひゅうと支持者が大喜び、一方無視され続けているマスコミはカンカン!ついでに、テロ対策の為、中東七か国の90日間、アメリカ入国を拒否。しかし、実はあまりテロとは関係ない国の国民だったりする。

いろいろ問題があるトランプ大統領ですが、テレビでは「素晴らしい!」とか「問題あり過ぎじゃないの?」と評価が反比例していてこういう大統領は始めてかもしれない。

トランプ大統領の行動で世界中がたいへん!「白黒」させるのもいいですが、何事もはつきりさせ過ぎるのもどうかな?と思う事は多い。私ごときが言うのもなんだが、これを早くトランプ大統領が気付いてほしいと思うのだが。

★【最近のこれはお見事!】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ!】は「これは、まずいぞ!」と思う題名を紹介しています。

on air!

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します!

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もあります。m(_ _)m

『家族はつらいよ』

WOWOW

2016年 日本

監督 脚本：山田洋次 脚本：平松恵美子

音楽：久石譲

出演：橋爪功 吉行和子 西村雅彦 夏川結衣
中嶋朋子 林家正蔵 妻夫木聡 蒼井優

2月4日(土) 20:00 【シネマ】
2月5日(日) 15:15 【プライム】
2月9日(木) 20:00 【プライム】
2月12日(日) 17:00 【シネマ】
3月5日(日) 11:30 【シネマ】

平田周造は、日本の高度成長時代を支えたサラリーマン。今は定年を迎え長男家族と妻・とみ子と暮らしていた。

いつもの通りゴルフ仲間と飲み屋に行き、いつも通り待っている妻の富子だが、実はその日はとみ子の誕生日だった。そこで、何かほしい物はないかと聞くと、なんと「離婚届けにサインがほしい」との返事。驚く周造を前に、冷静なとみ子に周造は戸惑うばかりだ。

驚いたのは、二人の子供達も同じ。家族会議という事で、二人が同居する長男・幸之助の家に長女・成子と夫の泰蔵、次男・庄太と恋人の憲子が集まった。幸之助の妻・史枝も入り会議が始まるが、簡単に解決する話でもなく…

やっぱり、山田監督は「明朗現代劇」が一番と評判になった作品。

『天地明察』

日本映画専門チャンネル

2012年 日本

監督 脚本：滝田洋二郎 脚本：加藤正人

出演：岡田准一 宮崎あおい 佐藤隆太 市川猿之助
横山裕 笹野高史 岸部一徳 中井貴一 松本幸四郎

2月4日(土) 12:10
2月24日(金) 19:20

暦。《時を知る》というのは世界中で大切な事で、特に日食・月食など天変地異は古代ではこれを知る者が民を治めていたようだ。

江戸時代、日本では【暦】は中国の昔のものを使用していた為、誤差がひどく不安定なものだった…

江戸幕府幕方の2世《安井算哲》は安井家の長男として生まれ、御城碁(将軍の前で碁を打つ事)ほどの腕前だが、その形骸化した囲碁界にはあまり興味がなく、望遠鏡で夜空を眺め観察する日々を送っていた。ある日、会津藩主・保科正之に命じられ、北極星の角度を計る【北極出地】に同行する事に。【北極出地】を仕切る建部伝内と伊藤重孝らとの旅は厳しくも楽しかったが、そこで日本の現在の【暦】は実は不正確なものだということを知る…

数学と天体観測が好きなお人にはたまらない映画。主人公が同行する笹野高史・岸部一徳二人の仕事の楽しみ方は、現代に通じるのではないかと思ったりする。

★読んで頂いてありがとうございます。よろしかったらコメントで感想をお叱りお聞かせください。よろしくお願ひします! 貴樹諒音

2004年 アメリカ
監督 脚本 製作：M・ナイト・シャマラン
原案：アン・ロス

『ワイルド』

出演：ホアキン・フェニックス、ウィリアム・ハート、ブライス・ダラス・ハウード
エイトリアン・プロディ、シガーニー・ウィーバー

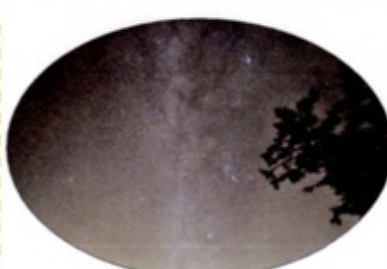
アメリカ。大きな森の中にある小さな村。自給自足で、豊かな暮らしではないが平穏な日々を送っていた。しかし、村には怪物がいるから絶対森の向こうに行つてはいけないという「掟」があり、誰も《森》に入らなないう事。それを確かめる事も出来ない。

今でもアメリカでは一部の人達が、昔の時代のように生活している人々もいるという。『独裁政治の横行』『過度な環境汚染』『核兵器』…、そんな世界に住みたくないくと思う人々も多いが、それが問題解決になっているのかとも思ってしまう。



Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie

シネマズライフ118号
✪ 発行人：貴樹諒音 ✪
発行日：2017年2月3日
cinemaz-life@movie.nifty.jp
✪ 告知ブログ ✪
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/



☆【編集後記】
『天地明察』では、庶民が「算術」に長けており、鎖国時代でもありながら【円周率】も「連立方程式」などを確立された【天文学】もそうだが、日本人の勉強好きはすごいなと思ったりする。

皆さまお体大切に!
かしこ

★次回発行は2月17日。発行予定は第一・三金曜日です。

シネマズライフ—cinemaz-life— 1 1 8号

<http://p.booklog.jp/users/rion-takagi>

著者：貴樹 諒音

メールアドレス cinemaz-life@movie.nifty.jp

著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』

<http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html>

【写真素材-フォトライブラリー】

の画像を使わせてもらっています。

《WOWOW》

『家族はつらいよ』

《日本映画専門チャンネル》

『天地明察』

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。

ぜひ、ご覧くださいませ。

Yahoo!映画

rion_takagiのMyムービー

<http://my.movies.yahoo.co.jp/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A-->

※& 他にもいろいろやってます。(^^;) ※&

お世話になっているインターネットTV

[netchannel KYO](http://www.netchannel.kyo)

『オススメ犬映画』

<http://www.pet-c.net/column/movie/index.php>

犬の映画を紹介してます。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸いです。

cinemaz-life@movie.nifty.jp

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.